



命 ひびき合い

北鹿島地区民 ひっきゃーで
確かな学力 たくましい身心
豊かな心を育て中

- ♥ 「月行事」の確認はスマホで確認が便利です。3カ月先も見られます「北鹿島小」でHPを検索
- ♥ 「校長ブログ」の更新を再開しました（週に2度）。スマホで今のお子さんの学校生活を「見て」「認めて」「ほめて」ください。



前期後半のスタートは 新しい二人の仲間と共に HP校長ブログより



令和5年8月28日、夏休み明け最初の月曜日の教室です。上の写真は、2年1組川崎由美学級の音楽の授業の様子です。この中には、8月25日に転入してきた新しい仲間がいます。「この曲は、前の学校ではもう習っている？」由美先生は、その子に優しく声をかけて確認しながら授業を進められておられました。

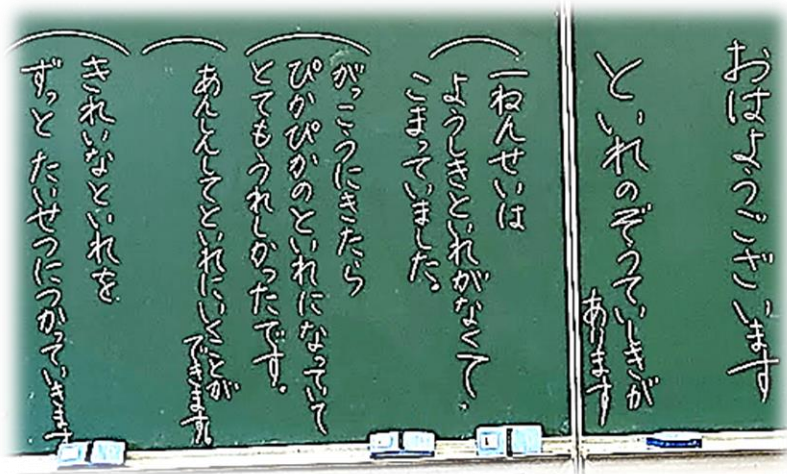


2番目の写真は、5年1組飯盛秀典学級の学級活動の様子です。画面左側に女の子がピースをしています。この子も、転入してきた新しい仲間です。外国籍の子で、英語はペラペラなので、現在日本語を勉強中です。隣にサポートをしてくださっている平川美葉先生の姿が見えます。

1年1組中島絵梨香学級では、夏休みの思い出を作文に書いていました。下書きを終えた子から、先生の机に持って行って、合格をもらい、清書をしていました。私が見ていると「最初に〇を書けなかった。どうしよう」と心配そうに話しかけてきた男の子がいました。作文の書き始めは、1マス空けるために「〇」を書くよう先生が指示されていたのをよく聞いていて、後で思い出したのでしょう。「よく書けている。そこは、つぎの時にがんばればいいよ。絵梨香先生に見せておいで」と私から声を掛けました。毎日、一つ一つ覚え、成長していくのでしょう。良いスタートが切れました。前期の後半も、子ども等のがんばりを皆で認め、声をかけて励ましていきましょう。

輝く北っ子 おめでとう

- ・ 第57回鹿島市子どもクラブ連絡協議会球技大会1～4年生 ドッジボールの部
優勝 井手区・森区 子どもクラブ
- ・ 社会科夏季作品展 地区審査
特選 1年 小柳 悠(ゆう)さん
4年 田中 琥汰郎(こたろう)さん
6年 織田 玲菜(れいな)さん
入選 3年 小笠原 夏輝(なつき)さん
3年 山口 咲輝(さら)さん
3年 岡 華桜(かぐら)さん
4年 中尾 璃音(りお)さん
6年 白川 萌果(もか)さん
- ・ 理科夏季作品展 地区審査
入選 2年 一番合戦 大翔(ひろと)さん
3年 中山 美月(みつき)さん
3年 馬場 結花(ゆいか)さん
3年 橋本 梨央(りお)さん
3年 卜部 来輝(らいき)さん
3年 元村 叶徠(かえら)さん
3年 小池 怜依菜(れいな)さん
4年 森田 衣知花(いちか)さん
4年 神谷 由美さん
5年 小池 琉愛(るあ)さん
5年 峰下 絆輝(きずき)さん
5年 北村 唯心(ゆいこ)さん
5年 向井 梨紗(りさ)さん
5年 山口 創(そう)さん
6年 唐島 航希(こうき)さん
6年 唐島 侑大(ゆうだい)さん



令和5年8月30日は、小林製薬の方々に大阪からお越しいただき、体育館で、1年生男女トイレの「洋式トイレ贈呈式」を行いました。上の写真は、この日の朝の一年生教室の黒板です。右上の写真は、1年生の代表児童が富山有子様にお礼の言葉を述べている場面です。2枚目は、トイレの使い方について「バンキー博士」に扮した男性社員の方に話をいただいています。子ども等は、身を乗り出して聞いていました。

その後、低・中・高学年ごとに音楽室で、トイレ掃除の授業をしていただきました。有難うございました。嫌なにおいも漂わないように各学年のトイレを掃除し、キレイに使っていただけるよう、職員・児童でがんばっていきます。保護者の方々も、家庭で子ども等とトイレ掃除を試みられたら良い、と思います。

令和5年度 北鹿島小学校いじめ防止等対策委員会を行いました

北鹿島小の「いじめ未然防止」や「不登校傾向のある児童への支援」の取組について、ご意見をいただく会です。令和5年8月8日に行いました。専門的な知識をお持ちであるスクールカウンセラーや警察OB、市の家庭相談員や保護者代表の方がそのメンバーです。委員の方から以下のようなご意見をいただきました。前期後半から改善の取組（※◎部分）を行います。

- いじめアンケート**の結果を見ても、重大な事案につながっていないことが分かる。
- 助けを求めることは、悪いことではない、ということを小さい頃から教えてほしい。
- 人はどうしても悪いところが目になってしまうので、良いところを見つけて褒めることの大切さを今後も大切にしてほしい。
- 不登校については**、昨年度よりも改善されている。
- 日頃より（該当児童の自宅へは）家庭訪問をよくしてもらっており、有難い。
- 孤立する家庭の中で困る子どもが出ないように、地区でも働きかけを行っていきたい。
- ◎「できていないこと」を排除するのではなく、日々の教育活動をとおして、**良いところ・できているところを互いに認めることができる集団づくり**に、これまで以上に取り組んでいく。
- ◎不登校に関しては、今後も**専門機関と連携をとりながら、学校組織全体で対応**していく。